

## MATCH関数

## 指定された文字列（複数）が存在するかどうかを論理値で返す

## ◇機能

指定した文字列が検索対象のフィールドに存在するかどうかを論理値で返します。

【FIND関数との違い】MATCH関数は、完全一致検索は行えませんが、複数の文字列を指定して検索することができます。

## ◇構文

MATCH(検索対象フィールド,検索する文字列,大小文字区別) ※関数の入寮画面の引数の並び順と異なります。

引数	入力内容
1 検索する文字列	検索したい文字列を指定します。複数の文字列を指定する場合は、カンマ (,) で区切ります。 (例) 「東京都」を検索する場合: "東京都" 「東京都」と「大阪府」を検索する場合: "東京都,大阪府"
2 大小文字区別	アルファベットの大文字と小文字を区別するかどうかを指定します。 0: 区別しない、1: 区別する
3 検索対象フィールド (省略可)	検索の対象となるフィールド (文字型、数値型、日付時刻型) を選択します。 ● 複数のフィールドを指定する場合は、[フィールド1]+[フィールド2]のように、+でフィールド名を追加します。ただし、数値型フィールド同士の場合は、フィールドの値を合計した結果を検索します。また、数値型フィールドと日付時刻型フィールドの場合は、日数計算をした結果を検索します (日付時刻型フィールド同士は、サポートしていません)。 ● 「ALLFIELDS」を選択すると、すべてのフィールドが検索の対象となります。 ● 省略した場合は、自動的に「ALLFIELDS」が選択された状態になります。

**MATCH**

MATCH( 検索する文字列, 大小文字区別, 検索対象フィールド )

検索する文字列  検索したい文字列を指定します。複数指定可能です。

大小文字区別  0: 区別しない 1: 区別する

検索対象フィールド  検索対象とするフィールドを指定します。省略可能

指定した文字列 (複数可) が検索対象フィールドまたは全てのフィールドのどこかに存在するかを検索して、論理値を返します。

- 検索する文字列 : 検索したい文字列を指定します。複数指定する場合は半角カンマ(,)で区切ります。※部分一致検索
- 大小文字区別 : アルファベットの大文字と小文字を区別するか同じ文字として扱うかを選択します。
- 検索対象フィールド : 「検索する文字列」をどのフィールドで検索するか指定します。  
省略した場合またはALLFIELDSを選択した場合は、すべてのフィールドから検索します。  
複数フィールドから検索する場合は、フィールド名で足し算することで検索できます。  
例) [フィールド名1] + [フィールド名2]

【スクリプト例】 MATCH( [フィールド名], "訂正,修正,指示,不正,役員", 0 )

OK キャンセル

## ◇戻り値のデータ型

論理型 (True/False)

## ◇処理の例

右のデータでMATCH関数による抽出を行った場合の例です。

	使用日	金額	消費税	摘要	備考
1	2022/11/28	150	15	電車 A駅→b駅	
2	2022/11/28	-150	-15	電車 a駅→b駅	取り消し
3	2022/11/28	200	20	電車 A駅→C駅	修正
4	2022/11/29	300	30	文房具	
5	2022/11/30	450	45	消耗品 B5ノート200冊	金額修正

抽出する内容			式	抽出されるレコードの番号
検索する文字列	大小文字 区別	検索対象フィールド		
修正、取り消し	区別なし	備考	MATCH([備考],"修正,取り消し",0)	2、3、5
修正、取り消し、 2022/11/29	区別なし	すべてのフィールド	MATCH(ALLFIELDS,"修正,取り消し, 2022-11-29",0)	2、3、4、5
B	区別なし	摘要	MATCH([摘要],"B",0)	1、2、5
	区別あり	摘要	MATCH([摘要],"B",1)	5
200	区別なし	すべてのフィールド	MATCH(ALLFIELDS,"200",0)	3、5
	区別なし	金額、消費税	MATCH([金額]+[消費税],"200",0)	なし